

市民防災リーダー研修～地域のリーダーとして

市民防災リーダー研修の内容やその役割などについて紹介します

1 ねらい

自主防災は、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という理念を原則に活動が行われています。

災害時において、消防などの公的機関が災害現場に到着し、災害活動に着手するまでの間、近隣住民の先頭に立って防災活動が行えることを目的として、神戸市では「防災リーダー」育成支援を行っています。

市民防災リーダーとしての活動は、上記理念に基づき各自が可能な範囲で自主的に行っていくもので、義務付けや拘束をするものではありません。



ちえぶくろ

市民防災リーダー研修は、消防署まで来署していただき、消防署員から直接研修を受講する形式で行われます。「防災リーダー」が習得しておくべき知識や技術はかなり広範囲なものとなりますので、研修を1日受けただけで全てを習得し切れるものではありません。

この研修は、皆さんが防災に取り組んでいく一つのきっかけです。普段から問題意識を持ち、疑問に思ったことは随時確認し学び続けていく姿勢が大切です。

2 市民防災リーダー研修

(1) 防災リーダーになるには

毎年消防署で実施する市民防災リーダー研修を受講していただきます。

この研修は、防災福祉コミュニティにおける地域防災活動が円滑に推進できるよう、地域における防災思想の普及及び災害時の防災活動のリーダーとして必要な、「防災知識」や「技法」を学ぶものです。

(2) 研修内容など

実施時期：消防署によって異なります。毎年消防署の方からご案内を差し上げます。各防コミごとで個別に実施する場合は、地区担当者と地域とで調整いたします。

実施場所：基本的には、地域の消防署・消防出張所などで行います。

実施内容：市民防災リーダーテキスト（受講時に消防署から配布します）に基づいてカリキュラムを決めていますが、実施する内容についても消防署ごとに工夫して実施しているため、内容は異なります。

カリキュラムの一例

時 間	内 容
9:30～10:00	<ul style="list-style-type: none">・ 火災概要等について・ 防災福祉コミュニティ、市民防災リーダーの役割について
10:00～10:40	<ul style="list-style-type: none">・ 消火器の取り扱い方の注意事項、指導要領・ 小型動力ポンプの取り扱い方、放水要領、指導要領・ 消火栓からの取水方法
10:50～11:30	<ul style="list-style-type: none">・ AEDの取り扱い方、CPRの要領、担架搬送要領・ ケガの手当ての方法・ その他ロープ結索など (上記のうちから2つ以上)
11:30～12:00	<ul style="list-style-type: none">・ 住宅用火災警報器についてなど・ その他連絡事項

※研修時間は概ね2時間30分程度です

ワンポイントアドバイス

- ☆ 防災福祉コミュニティは市民防災リーダーを毎年1名以上養成しなければなりません。
- ☆ 総合訓練、ブロック訓練と同様に、市民防災リーダー研修を毎年行ってください。
- ☆ 救急訓練については、時間の都合上体験しかできないことがあります。これについては市民救命士講習の受講をお勧めします。

参加者の方へ・・・

研修を受講された市民防災リーダーの方は、「総合訓練」や「ブロック訓練」のリーダーとして活躍してください。

あなたの「理解力」が「自信」につながります！